

# 平成 29 年度事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日

平成 25 年 4 月 1 日に「一般社団法人（非営利型）」へ移行したことに伴い、会の運営や事業活動に対して自主性・公益性・透明性がより強く求められることとなった。

平成 29 年度の事業については、事業計画に掲げた「基本方針」の基、会員企業の納税意識の一層の向上と企業経営の健全な発達等に資するため、税制に関する提言や租税教室の研修会、社会福祉事業等を行った。

なお、これらの事業を通じて女性部会、青年部会との連携・協調も図られ、「会員にとって魅力ある法人会」を志向した事業の推進に努めることができた。

また、沼田税務関係団体連絡協議会との連携のもと、税務行政の円滑な運営に協力することを目的に e - T a x ・ e L T A X 利用促進 P R 事業を展開した。

主な事業の概要は以下のとおり。

## 1 総務関係

事務局の充実と運営に関する件について審議するとともに、理事会等により会員増強策等を検討した。

「一般社団法人（非営利型）」として県法連の指導の下、県庁担当課と連絡・協議を行った。

## 2 組織関係

会員の増強活動については、年間を通じて取り組み、12月に「組織報告会」を開催したが、続く不況等による企業経営の沈滞から脱会者が多く、現状の組織率確保に奔走した。

会員の「身近にいる未加入法人に声をかけよう」を実践しつつ、役員一人が二人を勧誘することを目標とした。

青年部会、女性部会の会員状況（平成 30 年 3 月末現在）

- ・ 青年部会 57 名
- ・ 女性部会 40 名

両部会は、県法連等開催の連絡協議会に代表を派遣し、広く交流を図りながら活発な活動を展開した。

また、幅広い税務研修会を重ねて各々の企業経営に貢献した。

### 3 研修関係（税務支援事業）

四半期ごとに開催の「決算期別説明会」、年1回開催の「新設法人説明会」、企業経営者を対象とした講演会を開催した。

沼田税務関係団体連絡協議会と協力して「消費税の軽減税率制度等研修会」を開催した。

年末調整説明会を3会場において開催したほか、改正税法を主体とした税務研修会を本会、各支部の総会や役員会に併せて実施し税務の研鑽に努めた。

租税教室の充実を図るため、立川法人会青年部による「立川モデルの実践租税教室」研修会を開催した。

### 4 税制関係（税の啓発・提言事業）

翌年度の改正に向けた税制改正要望全国大会は福井市において開催された。

ここで決定された内容は、代表者を通じて政府、国会、関係省庁に要請を行い大きな成果を収めた。

本会としても税制委員により沼田市長・同議長及び国会議員に対して要望活動を行った。

沼田税務関係団体連絡協議会において活発な意見交換を行うとともに、個人の確定申告の早期提出やe-Taxの普及拡大に努めた。

租税教室の開催状況は、「みなかみ町立桃野小学校」、「群馬県立尾瀬高等学校」、「利根沼田学校組合立利根商業高等学校」において開催した。

平成21年度より続いている「税の標語」について、本年も中学3年生を対象として募集を行った。

平成28年度より女性部会において実施している、小学6年生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」を開催し、「税の標語」と併せて表彰式を行った。

### 5 社会貢献活動

社会貢献活動として、沼田市社会福祉協議会にバスタオル200枚を寄贈し、女性部会もタオル200枚の寄贈を行った。

### 6 広報関係

会報誌の「法人ぬまた」及び沼田税務署管内の納税貯蓄組合・青色申告連

合会と合同で「たにがわ」を発行するとともに、県法連発行の「法人群馬」、全法連発行の「税制改正のあらまし」・「ほうじん」等の配付により、会員に対する情報の提供を図った。

平成23年度より続いている沼田市の「納税通知書の封筒」に、「中学生による税の標語」の入賞作品を掲載し、本年も引き続き税の啓蒙・広報を図った。

## 7 厚生関係

会員の福利厚生制度として、「経営者大型保障制度」、「個人保障任意労災プラン」、「がん介護保険制度」等の優れた商品の周知を図り、制度の推進に努めた。

## 8 緒会議関係

(1) 本会通常総会（出席者 50 名、委任状 397 名）

平成29年5月25日 沼田ロイヤルホール

(2) 青年部会総会

平成29年6月28日 ホテルベラヴィータ

(3) 女性部会総会

平成29年6月27日 沼田ロイヤルホール